

読み物教材の原稿を毎月2つ掲載します。学習者のレベルに合わせて、自由にご利用ください。

初級・初中級レベル（本文 409 字）

「*学長の**おごり自販機」

高知県にある高知大学では、2025 年 12 月におもしろい自販機（自動販売機）ができました。それは、大学の学長が飲み物のお金を払ってくれる「学長のおごり自販機」です。

高知大学の学生や先生、大学で働いている職員の人が、あることをすると、おごり自販機を無料で利用できるコインがもらえます。それは、学長に向けて、聞きたいことやお願いしたいことを、大学の事務室でビデオに撮ってもらい、伝えることです。撮られたビデオは学長が見ます。そして、学長は、相談に乗ったり、みんなのためにできることを考えたりするそうです。

おごり自販機ができた理由は、学長が、おもしろい自販機を作れば、色々な人が集まって、学生や先生、職員の間の交流を増やせると思ったからです。おごり自販機ができた最初の日は、約 100 人が学長に伝えたいことをビデオに撮ってもらったそうです。おごり自販機がきっかけになって、大学の人たちのコミュニケーションがもっと広がればいいなと思いました。

*学長：大学で一番えらい責任者

**おごり：自分のお金で、他の人に買ってあげること

（参考：日本経済新聞 2025 年 12 月、読売新聞 2025 年 12 月）

学長 おごり 自販機

高知県 高知大学 自動販売機

払う ～てくれる

職員 ある～

無料 利用 コイン もらう

～に向けて 事務 ～室

ビデオ ～てもらう 伝える

相談 ～ために 考える

理由

集まる 間 交流 増やす

思う 最初 約～

きっかけ

コミュニケーション 広がる

《 設問 》

Q 1. 何をする と、おごり自販機で使えるコインがもらえますか。

Q 2. 学長は、撮られたビデオを見て、何をしますか。

Q 3. 学長がおごり自販機を作ったのは、どうしてですか。



《 調べましょう 》

名詞 : 学^{がくちょう}長 お^おごり 自^じ販^{はん}機 自^じ動^{どう}販^{はん}売^い機 職^{しょくいん}員 無^む料^{りょう} コ^こイ^{いん}ン 事^じ務^む ビ^びデ^でオ

理^り由^{ゆう} 間^{あいだ} 最^{さい}初^{しよ} き^きっ^っか^かけ

動詞 : 払^{はら}う I も^もら^らう I 伝^{つた}える II 考^{かん}える II 集^{あつ}まる I 増^ふやす I 思^{おも}う I

広^{ひろ}がる I

名詞/動詞 III : 利^り用^{よう} (する) 相^{そう}談^{だん} (する) 交^{こう}流^{りゅう} (する) コ^こミ^ミュ^ュニ^ニケ^ケー^ーシ^ショ^ョン (する)

その他 : ～てくれる ある～ ～に向^むけて ～室^{しつ} ～てもら^らう ～た^ため^めに 約^{やく}～

[固有名詞] : 高^{こう}知^ち県 高^{こう}知^ち大^{だい}学^{がく}



《 選びましょう 》 【 】の中から正しいことばを選んで () に入れてください。

必要なら形を変えてください。

【 相^{そう}談^{だん} 集^{あつ}まる 払^{はら}う 無^む料^{りょう} ビ^びデ^でオ 思^{おも}う 利^り用^{よう} 】

- (1) このお店では、お菓子を二つ買^かうと、もう一つ () でも^もら^らえ^えま^ます。
- (2) この町に住^すんでいる人は誰^{たれ}でも、この図^ず書^{しょ}館^{かん}を () で^でき^きま^ます。
- (3) 学^{がく}校^{こう}を卒^{そつ}業^{ぎやう}した後のことを、今^{いま}度^ど、先^{せん}生^{せい}に () し^しま^ます。
- (4) 子^こどもが小^{せう}さいと^ときに撮^とった () を、久^{ひさ}しぶ^ぶりに見^みま^ました。
- (5) 友^{とも}達の誕^{たん}生^{せい}日^{にち}なので、一^{いっ}緒^{しょ}にご飯^{いぱん}を食^くべ^べて、お金^{お金}は私^{わたし}が () ま^ました。

《 話しましょう 》

- 1) あなたは、高知大学にできたおごり自販機について、知っていましたか。
- 2) あなたは、おごり自販機について、どう思いますか。
- 3) もし、あなたの学校におごり自販機があったら、どんなことを言ってみたいですか。

中級・上級レベル（本文 627 字）

「デフリンピック」

2025 年 11 月 15 日から 26 日まで、東京 2025 デフリンピックが開催された。デフリンピックは、耳がきこえない人、きこえにくい人が出場する国際的なスポーツの大会で、4 年ごとに開かれている。1924 年にフランスのパリで第 1 回大会が開催され、今回の 2025 年の大会で 100 周年を迎えた。日本で初めての開催となった今回のデフリンピックには、79 の国と地域から約 2800 名の選手が参加した。

デフリンピックではスタートの合図を音だけでなく光で知らせたり、審判が笛を鳴らすと同時に旗を振ったりするなど、選手たちが目で見えてわかるように工夫されている。また、耳がきこえない、きこえにくい観客のため、卓球とバドミントンの一部の試合会場では、選手が球を打ったときの音を、「コッ」「パァン」といった文字に変換してモニターに表示させるといった配慮もされた。

応援をするときは手を使って気持ちを表現する日本の手話言語（手話）などが用いられた。例えば、国際的な場では顔の横で手をひらひらさせると「拍手」を表現することができる。さらに今回の大会では、サインエールという、日本の手話をもとに新しく作られた応援方法が取り入れられた。例えば、拍手の手話のあとに勢いよく手を前にぐっと突き出すと「行け！」という意味になる。このサインエールによって、より豊かな表現で選手たちを応援することが可能になった。

東京 2025 デフリンピックは様々な取り組みによって、「耳がきこえない人、きこえにくい人、きこえる人」、誰もが楽しさを共有できる大会になった。
（参考：読売新聞オンライン 2025 年 11 月、東京デフリンピックホームページ）

デフリンピック

東京 2025 デフリンピック

開催

～ごと フランス パリ

第～ ～周年

～名 選手

スタート 合図 審判

笛 鳴らす ～と同時に

旗 振る 卓球

バドミントン 球

変換 モニター 表示

配慮 応援 手話言語

用いる ひらひら 拍手

さらに サインエール

～をもとに 取り入れる

勢いよく ぐっと

突き出す ～によって

より 豊か 可能

様々 取り組み

共有

《 設問 》

Q 1. デフリンピックというのはどんな大会ですか。

Q 2. 卓球とバドミントンの一部の会場で、

耳がきこえない、きこえにくい観客のために取り入れられたのはどんなことですか。

Q 3. 日本の手話言語をもとに作られた新しい応援方法を何といいますか。

拍手の手話言語→



《 調べましょう 》

名詞	: 選手 <small>せんしゅ</small> 笛 <small>ふえ</small> 旗 <small>はた</small> 卓球 <small>たつきゅう</small> バドミントン <small>たまた</small> 球 <small>たま</small> モニター <small>しゅわげんご</small> 手話言語 <small>とく</small> 取り組み
名詞/動詞 III	: 開催 <small>かいさい</small> (する) スタート <small>すたーと</small> (する) 合図 <small>あいず</small> (する) 審判 <small>しんぱん</small> (する) 変換 <small>へんかん</small> (する)
	表示 <small>ひょうじ</small> (する) 配慮 <small>はいりょ</small> (する) 応援 <small>おうえん</small> (する) 拍手 <small>はくしゅ</small> (する) 共有 <small>きょうゆう</small> (する)
動詞	: 鳴らす I 振る I 用いる II
複合動詞	: 取り入れる II 突き出す I
な形容詞	: 豊か <small>ゆた</small> (な) 可能 <small>かのう</small> (な) 様々 <small>さまさま</small> (な)
副詞	: ひらひら さらに <small>いきお</small> 勢いよく ぐっと より
その他	: ~ごと 第~ <small>だい</small> ~周年 <small>しゅうねん</small> ~名 <small>めい</small> ~と同時に <small>どうじ</small> ~をもとに ~によって
[固有名詞]	: デフリンピック <small>とうきょう</small> 東京 2025 デフリンピック フランス パリ サインエール

《 選びましょう 》 【 】の中から正しいことばを選んで () に入れてください。

必要なら形を変えてください。

【 振る 卓球 合図 豊か 旗 共有 用いる 】

- (1) 試合会場の入り口に、各国の () が並んでいる。

(2) 田中さんは子どものころ、自然が () 場所で育ったそうだ。

(3) 弟はスポーツなら何でもできるが、特に () が得意だ。

(4) 私の名前を呼びながら、友達が手を () いるのが見える。

(5) 先生の () で、学生たちは答案用紙に名前を書き始めた。

《 話しましょう 》

- 1) あなたは東京 2025 デフリンピックを現地やテレビなどで観戦しましたか。
- 2) あなたが人に言われて一番うれしい応援の言葉はなんですか。
- 3) 日常生活で耳がきこえない人、きこえにくい人に配慮が必要だと思う場所がありますか。
それはどこですか。